

【様式1】 CAN-DO LIST 2025

学校名:	錦江湾	高等学校	大学科:	理数
科目名:	論理・表現 I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	あこがれの人や週末の予定など日常的な話題に関して, はっきりと話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。	1・2	単元末テスト・インタビュート	1学期	ア
	SI2 ☐	計画を立てたり, 紹介したい日本のお土産についてグループで話し合う際, 自分の考えなどを整理して表現できる。	6・9	単元末テスト・ディスカッション	2学期	イ
	SI3 ☐	アドバイスを求めたり, 与えたりする際, 自分の気持ちを表現したり, 適切に答えることができる。	13	単元末テスト・ロールプレイ	3学期	ア
Speaking Presentation	SP1 ☐	前もって話すことを用意した上で, 基礎的な語句, 定型表現を用いて, 人前で発表することができる。	3・5	プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 ☐	一連の簡単な語句や文を使って, 自分やグループの意見などを理由を挙げて発表することができる。	7・11	スピーチ・プレゼンテーション	2学期	イ
	SP3 ☐	グループの考えを事前に準備してメモの助けがあれば, 旅行業者になったつもりで外国人向けの観光地について薦めることができる。	12	プレゼンテーション	3学期	イ
Writing	W1 ☐	簡単な語彙や句, 文で, 友達の経験などの日常的な話題について叙述文などのまとまりのある文章を書くことができる。	4	単元末テスト	1学期	ア
	W2 ☐	災害などの社会的な話題について, 相手を説得するための論証文や, イラストの状況を時系列に沿って描写する叙述文を書いたりすることができる。	8・10	単元末テスト	2学期	イ
	W3 ☐	春休みに出かける場所などの日常的な話題について, 要点を項目立てて整理しながら説明文を書くことができる。	14	エッセイライティング	3学期	ア

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2025

R4	学校名:	錦江湾 高等学校	学 年:	1年
	科目名:	論理・表現 I	大学科:	理数

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4・5	1	SI	ア	単元末テスト・PT	SI1□	あこがれの人など日常的话题に関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。
	5・6	2	SI	ア	単元末テスト・PT	SI1□	週末の予定など日常的话题に関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。
	5・6	3	SP	ア	PT	SP1□	前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で発表することができる。
	5・6	4	W	ア	単元末テスト	W1□	簡単な語彙や句、文で、友達の経験などの日常的话题について叙述文などのまとまりのある文章を書くことができる。
	6・7	5	SP	ア	PT	SP1□	前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で発表することができる。
2	9	6	SI	イ	単元末テスト・PT	SI2□	計画を立てるため、グループで話し合う際、自分の考えなどを整理して表現できる。
	9・10	7	SP	イ	PT	SP2□	一連の簡単な語句や文を使って、自分の意見などを理由を挙げて発表することができる。
	10・11	8	W	イ	単元末テスト	W2□	災害などの社会的な話題について、相手を説得するための論証文を書くことができる。
	10・11	9	SI	イ	単元末テスト・PT	SI2□	紹介したい日本のお土産についてグループで話し合う際、自分の考えなどを整理して表現できる。
	11・12	10	W	イ	単元末テスト	W2□	イラストの状況を時系列に沿って描写する叙述文を書いたりすることができる。
	11・12	11	SP	イ	PT	SP2□	一連の簡単な語句や文を使って、グループの意見などを理由を挙げて発表することができる。
3	1・2	12	SP	イ	PT	SP3□	グループの考えを事前に準備してメモの助けがあれば、旅行者になったつもりで外国人向けの観光地について薦めることができる。
	1・2	13	SI	ア	単元末テスト・PT	SI3□	アドバイスを求めたり、与えたりする際、自分の気持ちを表現したり、適切に答えることができる。
	2・3	14	W	ア	PT	W3□	春休みに出かける場所などの日常的话题について、要点を項目立てて整理しながら説明文を書くことができる。

論理・表現Ⅰ 科目の目標

「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。